

# 京都大学「教育方法論」2012年度試験問題

(試験時間 80分)

以下の問いに答えなさい。なお、別紙の解答用紙には各問で選択した番号を必ず記載すること。

**問1** 以下の用語の中から4つ選択し、それぞれ100~200字程度で説明しなさい。(40点)

- |             |               |
|-------------|---------------|
| ① 完全習得学習    | ② 学級の機能       |
| ③ 5段階教授法    | ④ ポートフォリオ評価   |
| ⑤ オープン・スクール | ⑥ プログラム学習     |
| ⑦ 習熟度別学級編制  | ⑧ モニトリアル・システム |
| ⑨ 教科書       | ⑩ バズ学習        |
| ⑪ 仮説実験授業    | ⑫ 目標に準拠した評価   |
| ⑬ プロジェクト法   | ⑭ 教育(内容)の現代化  |

**問2** **A群**の(1)~(4)は誰の考え、主張であるか、まず各々の名前を記入し、あわせてその人物ともっとも関連する事柄を**B群**から1つずつ選びなさい。(40点)

**A群**

- (1) 「どの教科でも、知的性格をそのままにたもって、発達のどの段階のどの子どもにも効果的に教えることができる」
- (2) 「児童が中心であり、この中心のまわりに教育上の営みが組織されるのである」
- (3) 「直観はあらゆる認識の絶対的基礎である」
- (4) 「あらゆる人にあらゆることを教授する普遍的な技術を提示する」

**B群**

- ニューク ノスタロフ
- |              |           |           |           |
|--------------|-----------|-----------|-----------|
| (a) オキュペーション | (b) 到達度評価 | (c) 発見学習  | (d) 興味の方性 |
| (e) 世界図絵     | (f) PISA  | (g) 文部科学省 | (h) ICT   |
| (i) 知識基盤社会   | (j) 指導要録  | (k) 直観教授  | (l) 偏差値   |

(問3 裏に続く)